

令和6年度 第10回末野原地域会議 会議録

- 日 時 令和7年1月16日（木） 午後7時から8時45分
- 場 所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
- 出席者 委員 : 14名（欠席2名）
事務局（上郷支所）：下川支所長、小船担当長

■次 第

「豊田市民の誓い」 唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 第9回地域会議の会議録について
- 3 協議事項 今後の進め方について
- 4 その他
 - （1）上郷地域バスについて
 - （2）来年度の地域会議の開催日程について
 - （3）次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 第9回地域会議の会議録について

・第9回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

- 3 協議事項 今後の進め方について

・前回決まらなかった進め方について、一旦は末野原地域の防災を考えるにあたり、次の①～④を前提として進めることで合意した。

- ① 検討する対象…「避難所運営」 ※避難所＝指定避難所
- ② 検討事項の数…「避難所運営」のひとつ
- ③ 目指す姿 … 課題を整理する「前」に掲げる
- ④ 議論の範囲 … 指定避難所の避難所運営に関すること

（目指す姿：発災直後に地域住民による円滑な避難所運営ができるようにする大規模災害発生時に、個人または地域団体として自発的に動くことができ、助け合いながら初動期（災害発生当日）から展開期（2日～1週間程度）を地域の力で乗り切ることができる地域（行政等の支援が届くまで地域力で乗り切れる地域）を目指す

- ・始めに、上記の目指す姿の共有をした。
- ・次に、避難所運営マニュアルと地域で実施する訓練等の現状を確認した。
- ・その後、2グループに分かれ、目指す姿を達成するために「誰がどんな訓練や

研修等を受けていけばよいのか」について意見交換をした。

- ・各グループの協議内容を代表者から発表し、意見を共有した。
- ・避難所運営についてわからない中での意見交換は難しいとの意見があったため、定例会議とは別日に避難所運営がイメージできる研修（HUG など）を計画することとした。
- ・次回は、各グループで話し合った内容を参考に、できていないことの原因を探り、地域として何をすればよいのかについて話し合う予定。

<主な意見>

（委員）初動が大切、リーダーとなる人が誰なのかわかっていないと、避難者は誰に頼ればいいのかかわからないので、リーダーとして避難者に指示できる人（言える人）を、順番にするなどで決めていったほうがいいのかと思う。初動は集まってきた元気な方を動かせる方が必要かと思う。地域会議で話し合うとしたら、発災直後から3日くらいまでの範囲で見えていけばいいのかなと思う。

（委員）現実、リーダーとなる人が避難所にいけるかわからないので、アイデアとして、子どもから大人までだれでもわかるマニュアルを整備することが必要だと思う。大規模災害発生時にだれでも動ける体制を作って訓練をするのが大事だと思う。展開期の2日～1週間程度に、どれだけ行政が動けるのかわからず、また、地域がどれだけ動けるのか不安。

4 その他

事務局から、次の事項について連絡した。

- ・上郷地域バスの利用実績の報告
- ・来年度の地域会議の開催日程について
- ・次回の地域会議について
と き：令和7年2月20日（木）午後7時から
ところ：上郷交流館2階 ふれあいホール

